

令和7年10月 砥部町教育委員会 定例会 議事録

日 時 令和7年10月24日（金）10時00分

場 所 砥部町中央公民館 2階 会議室1

出席者 大江 章吾 教育長
篠原 弘康 教育委員
壽野 章子 教育委員
佐川 恵子 教育委員
松永 泰 教育委員
事務局職員 伊達 定真 学校教育課長
山本 勝彦 社会教育課長
堀 潤一郎 子育て支援課長
安岡 敬祐 学校給食センター長
湊 緑 学校教育課長補佐

傍聴人 0人

議事の概要 10時00分、教育長が委員の出欠を確認、開会及び会議の成立を宣言。
会議時間を委員に諮り、12時00分までと決定。
議事録署名人に、松永委員、佐川委員を指名。

○前回議事録の報告・承認（9月定例）

○教育長報告

○議事

なし

○その他

- (1) 11月行事予定について
- (2) 令和7年度全国学力・学習状況調査結果について
- (3) 幼稚園児数について
- (4) その他

11時25分、教育長が閉会を宣言。

日程第1 前回議事録の報告・承認

発信者	内 容
湊課長補佐	○前回議事録について説明 －質疑なし－
《 承認 》	

日程第 2 教育長報告

所 管	内 容
学校教育課関係	(1) 9 月 24 日から『伊予地区中学校新人体育大会』が開催された。結果についてはご覧（略）のとおりである。 (2) 10 月 2 日から全国町村教育長理事会が東京で開催され、私が出席した。 (3) 10 月 5 日に『砥部中学校運動会』が開催された。 (4) 10 月 8 日に『伊予地区小学校陸上大会』が、ニンジニアスタジアムで開催された。 (5) 10 月 14 日から『令和 8 年度教育費学校予算教育長査定』を行った。 (6) 10 月 18 日に『砥部地区小学校運動会』が開催された。 (7) 10 月 19 日に『広田小学校運動会』が開催された。
社会教育課関係	(1) 9 月 25 日に『愛媛県人権教育協議会支部長・加盟団体長及び事務局長会』が白鳳会館で開催された。私と社会教育課長が出席した。 (2) 9 月 28 日に『第 60 回砥部町卓球大会』が陶街道ゆとり公園体育館で開催した。結果はご覧（略）のとおりである。 (3) 10 月 12 日に『スポーツまつり in とべ 2025』を陶街道ゆとり公園で開催した。結果はご覧（略）のとおりである。 (4) 10 月 15 日に『愛媛県メディア教育研究大会』を生涯学習センターで開催され、私が出席した。 (5) 10 月 20 日に『第 2 回社会教育委員会議』を中央公民館で開催した。
子育て支援課関係	(1) 10 月 11 日に『砥部こども園運動会、宮内幼稚園運動会』を行った。

日程第 3 その他

発 信 者	内 容
(1) 11 月行事予定について	
壽野委員 山本課長	○各担当課から、11 月行事予定説明。 ・ 11 月 16 日の芸術文化フェスタ 芸能発表会はいつから出席したらいいのか。 ・ お時間がよろしければ、表彰式から出席をお願いしたい。

発 信 者	内 容
(2) 令和7年度全国学力・学習状況調査結果について	
伊達課長	○令和7年度全国学力・学習状況調査結果について、全国・県平均との比較、観点別結果分析等を説明。
壽野委員	・今と違う方針を考えているのか。
伊達課長	・学力向上推進委員会の実践部会で分析を行い、課題や今後の取組みについて検討し、協議しているところである。
松永委員	・今回の結果を見て、子どもたちが授業を好きになるように授業改善が必要だと思う。
伊達課長	・学校内で公開授業を行っている。また、町内の小・中学校間においても行っている。
篠原委員	・町内で結果が出ていない状況ならば、町外にも目を向けたほうがいいのではないか。
伊達課長	・伊予地区の中でも、教科ごとの研究事業として研修を行っている。
教育長	・愛教研などの団体でも研究事業を行っている。そういった中で今回は結果が出なかったが、年によって異なるので一喜一憂するのではなく、広い目で見ることが必要である。
壽野委員	・今回の結果でも分かるように、中学生の学習時間が少ないので、その意識改革が必要だと思う。小学生の学習時間についても、10分でできる宿題を1時間かけているだけかもしれないので、詳しい分析が必要だと思う。
佐川委員	・昨年度も同様の話があったと思う。この1年で成果はあったのか。
伊達課長	・家庭内学習の在り方を見直し、手引き（子ども用・保護者用）を作成した。特に、小学生は最低1時間の勉強をと示したことで増加傾向にあるので、今回の結果に繋がっていると思う。
壽野委員	・一意見として、小学生の宿題が若干多いと感じている。中学生こそ必要なのではないか。
伊達課長	・宿題については担任の先生の方によって異なる。全体的には、学力向上推進委員会でいろいろ話し合っただけで情報交換をする中で、適正な家庭内学習について、量と質の課題に取り組んでいきたい。
松永委員	・PTAの中で、生徒指導部会や学習部会などはあるのか。
壽野委員	・部会はあるが、縮小傾向にある。すべきことを消化するのが実態なので、ここまでの深い話を保護者と先生の間でできる場はない。
松永委員	・以前現場にいたときに、PTA 総会などで時間を設けて、保護者と教員で議論をしたことがある。保護者と教員、あるいは生徒も一緒になって、学習部会などでお互いの意識づけが必要だと思う。
教育長	・PTA が縮小化している問題については、先生の働き方改革もあるので、これから保護者と学校で考えていかなければならない。

発 信 者	内 容
(3) 幼稚園児数について	
堀課長	○令和 8 年度宮内幼稚園の募集を行った結果について、園児数の減少の推移、複式を含めた今後の幼稚園運営の検討などを説明。 ・子どもが複式の保育園に通っていたが、個人的には良かった。 ・令和 5 年度が令和 8 年度とほぼ同じ園児数になると思うが、その時は複式だったのか。 ・その時は複式ではなかった。その当時の状況や複式になった時のメリット・デメリットを考えていきたい。 ・共働き家庭が主流となり、全国的に幼稚園が減っている現状がある。来年度以降の幼稚園存続について検討が必要と思われる。 ・幼稚園数の減少は以前からで、その時にも協議したと思う。こども園にするのか幼稚園を存続させるのか、幼稚園を存続させるなら特色のある幼稚園として取り組む必要がある。両方の意見を聞かなければならないと話したと思う。 ・保育園に特色があったほうがいい。保育園と幼稚園論争と言われるものもあるが、保育園を選んだ親も幼児教育は大事だと考えていると思う。 ・国の縦割りの弊害が昔からの意識として残っているので、変えていかなければならない。 ・こども園の中には、1 号認定（3～5 歳児幼稚園型）、2 号認定（3～5 歳児保育園型）、3 号認定（0～2 歳児保育園型）と分かれているが、2 号認定の園児も 1 号認定の園児と同じカリキュラムの教育を提供するように砥部こども園では努めている。 ・こども園の話聞いたとき、差別化がなくなりいいことだと思った。宮内幼稚園の次の段階については、どのように進めるのか。 ・来年度以降、話を進めていく状況にある。最終的な決定は、いろいろな人の意見を聞きながら、教育委員会が決めることになる。園児の受け皿のことも考えていかなければならない。 ・参考までに、幼稚園に特化しているのは宮内幼稚園だけであるが、教育の分野で預かることが出来るのは、砥部こども園、愛育幼稚園、アイグランこども園麻生がある。受け皿は十分にある。 ・こども園の中でも、1 号認定の園児数が減ってきている。砥部こども園が始まった平成 30 年度の 1 号認定は 23 人だったが、現在の 1 号認定は 8 人となっている。だんだん保育園へ子どもが流れてきている。そのような議論も進められていくと思う。 ・もし幼稚園がなくなった場合、幼稚園の先生はどうなるのか。 ・町内保育所または砥部こども園へ異動することになる。
壽野委員	
篠原委員	
堀課長	
教育長	
篠原委員	
壽野委員	
教育長	
堀課長	
佐川委員	
教育長	
堀課長	
教育長	
篠原委員	
堀課長	

発 信 者	内 容
(4) その他	
壽野委員 伊達課長	《宮内小学校 6 年生の先生の状況について》 ・宮内小学校 6 年生の先生の状況はどうなったのか。 ・講師はまだ決定していない。
壽野委員 伊達課長	《砥部小学校の通知表について》 ・砥部小学校が昨年から通知表を 3 学期のみとした。全国的に通知表の見直しを行っている流れの中で、砥部小学校が先陣を切っている。学校同士での情報交換の場はあるのか。 ・校長会で情報共有している。それぞれの学校の中で、PTA の意見も含めて学校長が判断していく。この件に関して、教育委員会からは指示・指導は行っていない。
壽野委員 山本課長 教育長 伊達課長	《コミュニティスクールの良い事例について》 ・麻生小学校の探究の授業で、コミュニティスクールも関わって高齢者施設のお年寄りと交流を行った。後日、子どもたちがまた高齢者施設に遊びに行きたいということで先生が施設とやりとりし、高齢者施設に遊びに行ったという話を聞いた。コミュニティスクールの良い事例だと思ったのでお知らせしたい。 ・核家族でおじいちゃんおばあちゃんと一緒に住んでいる子どものほうが少ない状況の中、いい取り組みだと思う。 ・地域の方が協力的でいい取り組みだと思うが、学校が負担になりすぎないようにしなければならない。 《学校の施設整備について》 ・昨年度、広田小学校と宮内小学校のトイレ改修工事（洋式化・乾式化）を実施した。今年度、引き続き他の小学校のトイレ改修工事を予定していたが、国の補助採択がされていない。全国的には空調設備工事が増加しており、緊急性の高い事業から補助採択されている。このような状況を踏まえて、本町でも学校の空調整備事業を優先して取り組む方向性を議会へ説明した。